

編 集 後 記

- ▼今号の目玉企画として、「大学児童教育学科 50 年」の特集を組んだ。渡邊先生には教務部長の経験から教員組織や教育課程の変遷を中心に児童教育学科 50 年の歴史を書いていただいた。また、松永先生には、短大・見教の 4 人の卒業生に座談会で「短期大学部から 4 年制大学に引き継いだこと」について語っていただき、それをまとめてご執筆いただいた。さらに、同学科の卒業生で早緑子供の園に副園長として勤務されている土田先生には、およそ 40 年に及ぶ保育士としての自身の経験などをご執筆いただいた。
- ▼昨年 5 月 12 日には、「西南学院バプテスト資料室」がオープンした。その開室記念講演を東北学院院長であり、同大学長の大西先生に「バプテスト資料室に期待するもの」というテーマでお願いした。大西先生は、「資料を死蔵することなく、各教会と連携を図りながら、利活用すること。講演やセミナー、あるいは『年報』などを通して多くの方々に広く知ってもらおうことが、この資料室の役割ではないか」と語られ、同資料室の開室記念に貴重書をご恵贈いただいた。
- ▼昨年 8 月 29 日に献堂式を行った大学の新体育館について、当時の建設委員長であった立石先生にご執筆願った。種々の会議の記録をまとめていただいたが、コロナ禍や埋蔵文化財の発見などで当初の計画の変更を余儀なくされ、ご苦勞が多かったのではないかと思う。
- ▼E. B. ドージャーの伝記を昨年 10 月末に第 2 版として刊行した。当初、著者の斎藤先生は、論文「Edwin B. Dozier の日本のバプテスト教会状況報告（1946 年）分析」も同伝記の中に含めたいというお考えをお持ちだったが、E. B. ドージャーの日本での働きがよく理解できる論考で、本誌に掲載することが望ましいとのアーカイヴズ編集委員会の判断により、今号に掲載することになった。
- ▼大学の剣道部は 1921 年に発足したので、2021 年に創部 100 周年を盛大に迎える予定だったが、コロナ禍により、記念式典などを大幅に延期せざるを得なくなった。昨年 5 月ようやく新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行したため、8 月にやっと創部 100 周年を祝うことができた。高松さんは、同部の記念誌編集を任されていたので、今回の本誌にも「剣道部 100 年通史」を執筆してもらった。
- ▼2023 年度の企画展である「西南学院と干隈の思い出」について、展示の解説と振り返りをアーキビストの宮川さんに執筆願った。画像をふんだんに取り入れて、干隈の思い出が懐かしくよみがえる展示会になったことが報告された。今後も資料のアーカイヴ化に積極的に取り組み、次回の展示会につながるような振り返りをご執筆いただきたい。
- ▼この第 2 号は、比較的原稿量が多く、これまでにないボリュームの刊行物となった。それぞれの労作に感謝するとともに、これからもますます充実した冊子になるよう精進したい。（世）

2024年3月11日 印刷

2024年3月19日 発行

編 集 西南学院史資料センター

発 行 学校法人西南学院

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

印 刷 株式会社キャンパスサポート西南

〒814-0006 福岡市早良区百道1丁目14番29号